

ふくしま YOUTH VOICE 2024 郡山会場 実施結果

1 テーマ

「若者が主体となって活動する団体や取組などを知り、若者が魅力的だと思うまちづくりについて考える。」

2 日時

令和6年12月15日（日） 13時00分～17時00分

3 場所

ワークショップ：郡山商工会議所

フィールドワーク：郡山女子大学（「こわかフェス 2024」見学）

4 参加者

高校生10名

5 概要

- ①若者が主体となって活動する団体や郡山市の取組についてお話を伺った。
- ②こおりやま子ども若者ネットワークセンターが開催するイベント「こわかフェス 2024」に参加し、活動の様子を見学した。
- ③若者が活躍する姿を受けて、自分ができることは何か、素敵なまちをつくるにはどうすればよいか、大人との対話を交えながら検討を行った。

6 参加した高校生の意見や気づき等

- ・ユースセンターのような、若者や大人がゆるい関係の中で交流することができる場がとても重要だと感じた。
- ・若者のことを若者が決めるというスタイルをどんどん推進していくべきだと思った。今、高校生として生きている立場でしか感じられない思いを積極的に発信していけるようにしたい。
- ・今の社会には若者があまり参加しないので、こどもの「参加」「自己実現」「多様性」を実現できれば、若者の意見を反映してもらえと思う。
- ・こども・若者の声が社会や政治に受け入れられて反映されないから、社会や政治に参加しない。しっかりとこども・若者の声に耳を傾けて、実現したことを発表することで信頼を作り上げることが大切。
- ・自分から意見を出すのは難しく、人前で何か発言するのも苦手だが、福島県や若者の未来のためには、まちづくりなどに参加した際に、自分を出していくことが大切だと思った。
- ・失敗は成功の過程なので、失敗したとしても重く受け止めずに、いろいろなことに挑戦し続けることが大切だと感じた。
- ・若者の意見を反映させる取組が沢山あることは分かったが、若者だけではなく、高齢者など誰ひとり取り残さない社会を実現することも大切。

